

明治三十九年四月十八日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望  
内務大臣 原 敬

勅令第八十四號 (官報 四月十九日)

北海道廳官制中左ノ通改正ス

第七條第二項中「四百八」ヲ「四百四十二人」ニ「百十五人」ヲ「百三十四人」ニ改ム

第八條中「二人」ヲ「四人」ニ改ム

〔參照〕

勅令第三百三十九號北海道廳官制(明治三十八年四月十九日官報)抄錄

第七條第二項

廳警部ハ通シテ四百人視學ハ八人技手ハ百五十人通譯ハ二人ヲ以テ定員トス

第八條 前各條ノ定員ノ外廳事試驗ニ關スル職員ヲ置ク其ノ定員ハ專任技師三人及專任技手二人トス

朕裁判所書記長書記定員及俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月十八日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望  
司法大臣 松田正久

勅令第八十五號 (官報 四月十九日)

裁判所書記長書記定員及俸給令中左ノ通改正ス

第二條中「三千七百三十三人」ヲ「三千八百四十三人」ニ改ム

〔參照〕

明治二十六年十月三日官報勅令第七十七號裁判所書記長書記定員及俸給令第二條中「三千七百三十三人」ハ區裁判所及區裁判所檢察局裁判所書記ノ定員ナリ

朕工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法施行規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月二十三日

大藏大臣法學博士 阪谷芳郎

勅令第八十六號 (官報 四月二十四日)

工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法施行規則

第一條 酒精ヲ左ノ物品製造ニ使用シタルトキハ工業用ニ供シタルモノトシ工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法第一條ニ依リ金額下付ノ請求ヲ爲スコトヲ得

火藥

尼斯

依的兒

石鹼

單寧酸

龍腦

食醋

セルロイド

外國ニ輸出スル香水

酒精ヲ左ノ用途ニ供シタルトキ亦前項ニ同シ

蒸汽汽罐燃料

セルロイド加工用

第二條 酒精酒類其ノ他酒精含有飲料ヲ政府ノ火藥製造用又ハ煙草醱酵用ニ供給シタル者ハ工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法第二條ニ依リ金額下付ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三條 工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法第一條ニ依リ金額下付ノ請求ヲ爲ス爲酒精使用ノ承認ヲ受ケムトスル者ハ其ノ使用スヘキ數量、使用ノ目的、場所及日時ヲ定メ所轄稅務署ニ申請スヘシ

第四條 前條ノ申請アリタルトキハ當該官吏ハ酒精ノ使用前其ノ數量及含有純酒精ノ容量ヲ檢定シ使用ノ承認ヲ與フヘシ但シ申請ノ場所及日時ニ於テ其ノ目的ニ從ヒ使用セスト認ムルトキハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得

當該官吏ハ前項ニ依リ承認ヲ與ヘタル酒精ヲ使用スル場所ニ就キ酒精、酒精ト混和スヘキ物品、製品、殘渣、器具、器械及帳簿書類ヲ檢査シ其ノ他監督上必要ト認ムル方法ヲ施スコトヲ得 營業者前項ノ檢査又ハ處分ヲ拒ムトキハ當該官吏ハ既ニ與ヘタル承認ヲ取消スコトヲ得

第五條 酒精ヲ第一條ノ工業用ニ使用スルニ際シ作業中酒精ノ分離シタルモノアルトキハ稅務署ニ申出テ其ノ數量及含有純酒精ノ容量ノ檢定ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テハ分離シタル酒精ノ數量ヲ控除シタルモノヲ以テ使用數量トス

第六條 工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法ニ依リ金額ノ下付ヲ請求スル申請書ハ所轄稅務署ニ提出スヘシ

酒精ヲ外國ニ輸出スル香水ノ製造用ニ供シ金額ノ下付ヲ請求スル場合ニ於テハ前項ノ申請書ニ輸出免狀又ハ之ニ代ルヘキ書類ヲ添附スヘシ

工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法第二條ニ依リ金額ノ下付ヲ請求スル場合ニ於テハ第一項ノ申請書ニ酒精酒類其ノ他酒精含有飲料ヲ政府ノ火藥製造用又ハ煙草醱酵用ニ供給シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添附スヘシ

第七條 工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法ニ依リ金額下付ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ少クトモ左ノ事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ

一 酒精酒類其ノ他酒精含有飲料ノ數量他ヨリ引取リタルモノニ在リテハ引取ノ日及其ノ引取先

二 使用シタル酒精ノ數量、使用ノ目的及使用ノ日

三 政府ニ供給シタル酒精酒類其ノ他酒精含有飲料ノ數量及供給ノ日

四 製品アルトキハ其ノ種類、數量及其ノ製造ノ日

五 作業中酒精ノ分離シタルモノアルトキハ其ノ數量及含有純酒精ノ容量

第八條 當該官吏ハ第一條ノ工業用ニ酒精ヲ使用スル者ノ營業ニ關シ職務上知得シタル事項ヲ他ニ漏洩スルコトヲ得ス

附則

本令ハ工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕關稅率調査ニ關スル職員ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月二十三日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望  
大藏大臣 博士阪谷芳郎

勅令第八十七號 (官報 四月二十四日)

關稅率調査ノ爲大藏省ニ臨時左ノ職員ヲ置キ主稅局ニ屬セシム

屬 專任二人  
拔手 專任六人

朕明治三十七年勅令第七十九號中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月二十三日

海軍大臣 齋藤實

勅令第八十八號 (官報 四月二十四日)

明治三十七年勅令第七十九號中左ノ通改正ス  
別表ヲ左ノ如ク改ム

(別表)

官別	職別	本邦沿岸		清、韓、東經九十度以東		東經九十度以西	
		北緯四十四度以南 北緯三十六度以北	北緯四十四度以南 北緯三十六度以北	東經九十度以東 西經百四十度以西	東經九十度以西 西經百四十度以西	東經七十度以東 西經七十度以西	東經七十度以西 西經七十度以西
大佐	監督官	一圓五十錢	二圓二十五錢	三圓四圓五十錢	六圓	七圓五十錢	圓
及相	監督官	一圓二十錢	一圓八十錢	三圓六十錢	四圓八十錢	六圓	圓
中佐	指揮官	一圓	一圓五十錢	三圓	四圓	五圓	圓
及相	監督官	六十五錢	九十八錢	一圓九十五錢	二圓六十錢	三圓二十五錢	圓
少佐	監督官	五十五錢	七十五錢	一圓五十錢	二圓	圓二十五錢	圓
及相	監督官	五錢	十錢	一圓	一圓五十錢	二圓五十錢	圓

トヲ得ス

第四十四條第一項中「分配ヲ處分」ニ改メ同第二項中「組合員ノ持分ニ對スル」ヲ削リ「分配ヲ配當」ニ改ム

第五十四條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ定款ノ定ムル所ニ依リ脱退當時ノ財産ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ得

第五十五條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ前條但書ノ場合ニ於テハ脱退ノ時ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ

〔參照〕

法律第三十四號產業組合法(明治三十三年三月七日官報)抄録

- 第一條 本法ニ於テ產業組合トハ組合員ノ產業又ハ其ノ經濟ノ發達ヲ企圖スル爲メ左ノ目的ヲ以テ設立スル社團法人ヲ謂フ
  - 一 組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト(信用組合)
  - 二 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セシメテ之ヲ賣却スルコト(販賣組合)
  - 三 產業又ハ生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト(購買組合)
  - 四 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工員ヲシテ產業ニ必要ナル物ヲ使用セシムルコト(生産組合)
- 前項第一號ニ掲ケタル事業ハ他ノ各號ニ掲ケタル事業ト相兼スルコトヲ得ス
- 第九條 定款ニハ本法ニ規定アルモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載シ設立者之ニ署名捺印スヘシ
  - 七 剩餘金及損失分配ニ關スル規定
- 第十五條 組合ハ其ノ設立ノ登記ノ申請ト共ニ組合員名簿ヲ其ノ主タル事務所所在地ノ裁判所ニ差出スヘシ
  - 一 各組合員ノ氏名、住所
  - 二 各組合員ノ出資口數
  - 三 各組合員ノ拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日
  - 四 出資各口ノ取得ノ年月日
  - 五 保證責任組合ニ在リテハ合組合員ノ保證金額

- 第十四條第二項ノ規定ハ組合員名簿ノ記載ニ之ヲ準用ス
- 第十四條 組合ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サレハ剩餘金ノ分配ヲ爲スコトヲ得ス
  - 組合員ノ持分ニ對スル剩餘金分配ニ關スル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第五十四條 脱退シタル組合員ノ持分ハ其ノ脱退ヲ組合員名簿ニ記載シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合財産ニ依リテ之ヲ定ム
- 第五十五條 持分ノ拂戻ハ事業年度ノ終ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ
  - 持分拂戻ノ請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二箇年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシ

御名 御璽

明治三十九年四月二十三日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望  
大藏大臣博士阪谷芳郎

法律第四十六號(官報 四月二十四日)

工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法

第一條 造石稅納付濟ノ酒精ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ命令ヲ以テ定メタル工業ノ用ニ供スル者ハ政府ノ承認ヲ得テ毎回一石以上ノ酒精ヲ使用スルトキニ限り其ノ造石稅ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

第二條 造石稅又ハ沖繩縣酒類出港稅納付濟ノ酒精、酒類其ノ他酒精含有飲料ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ命令ヲ以テ定メタル政府ノ工業用ニ供給スル者ハ毎回一石以上ノ供給ヲ爲ストキニ限り

其ノ造石稅又ハ出港稅ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得  
第三條 前二條ノ請求ハ酒精酒類其ノ他酒精含有飲料ノ使用又ハ供給後一年ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 第一條ノ酒精ニ對シ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ變性ヲ命スルコトヲ得  
第五條 第一條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第二條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅又ハ出港稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類及酒精、酒類其ノ他酒精含有飲料ヲ政府ニ供給シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第六條 詐偽其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ造石稅又ハ出港稅ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求シタル者ハ其ノ造石稅又ハ出港稅ノ五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ三十圓ヲ下ルコトヲ得ス

第七條 間接國稅犯則者處分法及明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタル者ニ之ヲ準用ス

附則

醫藥用工業用酒精戻稅法ハ之ヲ廢止ス但シ本法施行後三箇月迄ニ造石稅ノ賦課ヲ受ケタル醫藥用酒精ノ稅金下戻ニ關シテハ本法施行後六箇月ヲ限リ醫藥用工業用酒精戻稅法ヲ適用ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル醫師法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年五月一日

內閣總理大臣 侯爵西園寺公望  
內務大臣 原 敬  
文部大臣 牧野伸顯

法律第四十七號 (官報 五月二日)

醫師法

第一條 醫師タラムトスル者ハ左ノ資格ヲ有シ內務大臣ノ免許ヲ受クルコトヲ要ス

一 帝國大學醫科大學醫學科又ハ官立、公立若ハ文部大臣ノ指定シタル私立醫學專門學校醫學科ヲ卒業シタル者

二 醫師試驗ニ合格シタル者

三 外國醫學校ヲ卒業シ又ハ外國ニ於テ醫師免許ヲ得タル者ニシテ命令ノ規定ニ該當スル者  
醫師試驗ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ノ卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニシテ醫學專門學校ヲ卒業シ若ハ外國醫學校ニ於テ四箇年以上ノ醫學課程ヲ修了シタル者ニ非サレハ之ヲ受クルコトヲ得ス

第二條 左ニ掲クル者ハ免許ヲ受クルコトヲ得ス

一 重罪ノ刑ニ處セラレタル者但シ國事犯ニシテ復權シタルトキハ此ノ限ニ在ラス